

令和5年度 博物館実習実施要項

岐阜県美術館

1 実習の位置づけ

大学及び大学院で学芸員課程を履修する学生の単位修得に協力する。

2 実習の目的

- (1) 博物館実習を通じて、学芸員として必要な基礎的な知識と技術を学ぶ。
- (2) 美術館施設の役割を理解し、美術館員として必要な経験を積む。
- (3) 教育普及活動やボランティアの活動等から、生涯学習の場としての美術館の役割を理解する。

3 実習内容

- (1) 美術館施設の役割と機能について
- (2) 美術品の取り扱いと調書および作品カードの作成（分野：絵画、彫刻、工芸、現代美術）
- (3) 収集から展示までの調査研究、情報管理について
- (4) 企画展の立案から実施まで
- (5) 作品の保存環境および修復について
- (6) 教育普及活動（美術教育、普及活動、広報活動）について
- (7) 美術館ボランティアの活動について

4 実習期間

令和5年7月27日（木）から8月1日（火）までの6日間

5 申し込み条件

博物館実習以外の学芸員課程科目の単位を修得済み、又は令和5年度中の単位修得見込みのある大学4年生、大学院生及び通信教育により学芸員資格を取得しようとする者。原則として岐阜県内の高校を卒業したか、岐阜県内の大学に通う生徒或いは岐阜県在住で、美術館学芸員を志望し美術系の博物館実習をするに必要と思われる専攻に学んでいること。実習期間中、岐阜県内の住所から休まず実習に通えること。所属の担当教授あるいは事務担当者が実習のある土日を含み至急の連絡に応じられること。※新型コロナウイルス感染予防対策の為に、急遽予定が変更・中止となる場合があります。

6 定員

原則として8名以内

作文（下記テーマ）および申込書（別紙）をふまえ、応募者多数の場合は抽選をおこない、令和5年3月31日（金）までに本人宛へ結果を郵送にて通知します。なお、電話によるお問い合わせには回答いたしません。

7 申し込み

- (1) 提出書類 ア 作文 ①「美術館学芸員志望理由」②「専攻した学科における研究内容」
①、②の2題を合わせて、1200字程度（原稿用紙3枚もしくは、A4用紙1枚にプリント）作文したものを提出。
イ 申込書 様式1（履修内容等詳しくお書きください）
ウ 返信用封筒（長角3号、宛名記入、返信用切手94円分同封）
- (2) 受付期間 令和5年2月1日（水）～2月15日（水）
受付時間 持参の場合は館内ステーション（中央受付）に10:00～16:00
郵送の場合は期間内必着
- (3) 送り先 岐阜県美術館 学芸部博物館実習担当 宛

8 応募から受入承認までの流れ

受付2月15日締切 → 美術館から本人に通知：3月31日まで → 本人から大学担当課に報告 →
大学から当館へ受入依頼書送付：4月28日まで → 美術館から追加の課題を本人に通知 →
本人から美術館に課題提出：5月31日まで → 当館から大学へ受入承諾書送付：6月下旬以降

9 問い合わせ先

岐阜県美術館 博物館実習担当 西山恒彦 (nishiyama-tsunehiko1@pref.gifu.lg.jp)
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22 TEL 058-271-1314 FAX 058-271-1315

(様式1)

博物館実習申込書

令和5年度岐阜県美術館博物館実習実施要項に基づき、7月27日(木)から8月1日(火)まで行う博物館実習を下記のとおり申し込みます。

令和 5 年 月 日

氏名

所属機関名	大学	学部	学科	年
所属機関の住所 実習担当教授 事務担当者等 土日含む実習日 に連絡の通じる 連絡先も記載。	〒 担当教授： 事務担当者： TEL () TEL () Mail: Mail:			
氏名	ふりがな 昭和・平成 年 月 日生 () 歳 (男・女)			
現住所	〒 TEL () 携帯電話() Mail:			
実習期間中の 住所(実家等) (現住所と同じ場合は 同上を○で囲む)	同上 〒 方(続柄) TEL ()			
卒業した 高等学校	都・道・府 立 高等学校 県・市・私 年 月卒業			
大学での 専門分野 (具体的に記入)				
学芸員資格取得 講座履修等の 状況	・修得済み科目及び単位数 ・令和5年度履修科目			
実習期間中の 通勤方法(○印)	自家用車 ・ 公共交通機関 ・ 自転車 ・ 徒歩			
受入内定通知の 送付先(○印)	現住所 ・ 実習期間中の住所 ・ その他 〒 住所			

美術館 記入欄	受付NO.	選考結果
------------	-------	------